

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市下瀬谷地域ケアプラザ

■ 事業報告

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

1. ケアプラザの担当する地区は、人口約 3 万人、高齢化率は約 29%となっています。高齢化率は年々上昇傾向にあり、振り込め詐欺による被害や認知症高齢者による徘徊などの諸問題も起きています。ケアプラザとしても 29 年度に引き続き、30 年度も地域と共に、見守りの仕組みづくりに取り組んで参りました。
2. 瀬谷第二地区、南瀬谷地区共に地域活動が活発に行われています。しかし、特定のメンバーが様々な役割を担っている側面もあり、新たな担い手の育成が課題となっています。30 年度は新たな対象へアプローチし、人材の発掘に努めました。
3. 瀬谷第二地区においては新たにボランティアのマッチング制度「瀬谷第二地区生活応援隊」が創設されました。
4. 南瀬谷地区では、独自に「南瀬谷地区地域福祉保健計画推進協議会」を設けており、30 年度は新たな実施体制となります。ケアプラザも関わりながら後方支援を行って参りました。
5. 両地区ともにこどもの貧困や孤食の問題に力を入れ、「こども食堂」を展開しています。ケアプラザとして後方支援をしました。

(1)相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

1. 子ども・子育ての相談に関しては、自主事業の「親と子のフリー広場」などで、育児の相談や悩みなどに対して気軽に相談できる体制や日頃の関係づくりに努めました。
又、区役所やにこてらす、地域の子育て支援者、その他ボランティアにも声を掛け、地域全体で見守る環境づくりに努めました。
2. 瀬谷第二地区「下瀬谷こども食堂」・南瀬谷地区「こども食堂ラッキー」に積極的な支援活動を行い、利用者が気軽に相談できる環境づくりに努めました。又、深刻なケースに関しては、区役所や専門機関へつなぎ迅速な対応をはかりました。
3. 瀬谷第二地区「いきいき瀬谷っ子」事業の「あつまれ ちびっこ みずあそび in サマー」、「ちびっ子フェスティバル」で、にこてらすとともに“子育て相談コーナー”を設け、地域の中で気軽に相談できる環境づくりに努めました。
運営協議会委員の薬剤師会とも協力し、小児薬やスキンケア等の相談にも対応しました。
4. コミュニティカフェ「カフェ・アロハ」では、個室を用意し、介護の悩みから子育て・障がいなど、さまざまな相談を個別に受ける体制を整えました。
5. 中途障がい者の支援事業である「四ツ木会」での座談会などで情報交換に努めました。

(2)各事業の連携

1. 地域会合や地区支援チームの会議などの記録は、回覧するなどして情報を共有しました。回覧後の記録は、連合毎のファイルに会議別にインデックスを分けて保管しました。
2. 地域包括支援センター（以下、包括という）と地域交流、生活支援コーディネーターが月1回のケア会議の中で、それぞれ把握した地域ニーズや課題について情報共有しました。

(3)職員体制・育成、公正・中立性の確保

1. 雇用促進による地域の活性化に寄与できるよう、職員採用については、地域採用を心がけました。
2. 当法人で運営している地域ケアプラザと連携を図りながら、定期的に勉強会を開催し、経験に応じた研修を計画・実施し専門職としてのスキルアップを図りました。
内外研修に積極的に参加し、部署毎の会議や職員会議の機会を利用し、伝達研修等行い共有し合いました。
個人情報研修は瀬谷区福祉保健課にも協力してもらい、常勤非常勤問わず全職員を対象に実施しました。
3. 職員に対して、日頃の業務に対する課題や業務全般の意欲を確認するなど、継続したフォローアップに努めました。
4. 他部署の業務把握が行える職員会議を毎月開催し、連携したサービス提供を実施しました。
5. 研修やミーティングなどで利用者への適正な事業者情報の提供方法等の確認をしました。

(4)地域福祉保健のネットワーク構築

1. ケアプラザを利用されている地域の福祉保健団体と日常的に情報・意見交換を行い、それぞれの団体が地域の中で活躍できるよう協力しました。
2. 子育て応援ネットや地域の子育て拠点・支援者とのネットワークを通じて、地域の方々が気軽に相談できる環境づくりに努めました。
又、活動の縮小に悩んでいた子育てサークル「たんぽぽ」の支援活動を行い、会の立て直しに協力しました。
3. 自立支援協議会とのネットワーク構築により、地域の中で障がい者作業所の方々が活躍できる場を広げました。又、各地区学地連との取組強化により、小中学生との交流及び個別支援級に対する支援活動を行いました。
4. 月1回のケア会議において、包括・地域交流、生活支援コーディネーター、エリア担当の区役所ケースワーカー・保健師、瀬谷区社会福祉協議会（以下、区社協という）と情報交換・共有を図りました。
5. 包括・地域交流、生活支援コーディネーターが連携して地域福祉保健計画・地区社会福祉協議会（以下、地区社協という）・民生委員児童委員協議会（以下、民児協という）の会議に出席し、地域関係者との定期的な情報交換に努めました。

(5) 区行政との協働

1. 地区別計画においては、各地区の計画の進捗状況を踏まえてケアプラザの視点から支援の方法を提案していきました。また、地域交流と生活支援コーディネーターが協力して地域会議やチーム会議に出席し、情報の提供やチームメンバーとの情報共有に努めました。
2. 第3期地域福祉保健計画の推進に向けて、地域の方が安心して暮らせるまちづくりや健康を意識して生活できるよう、事務局として関わり、支援しました。
3. 福祉避難所としての機能を踏まえて、定期的に応急備蓄の確認や区役所との情報共有をしました。また、3月に「福祉避難所開設訓練」を実施しました。
4. 区主催の「せやまるタウンカレッジ」に参加し、受講者を地域活動につなげるサポートを行いました。具体的には、居場所づくりの立ち上げ支援や、仕事のスキルや趣味を活かした活動につなぎました。受講者をケアプラザ主催の事業にもお誘いし、今後も継続してつながりを保つことができるよう、心がけました。
また、区制50周年記念事業実行委員会に区内5ケアプラザの代表として参加し、記念事業の推進・周知活動に協力しました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

1. 高齢者支援事業として、既存の「うたごえ広場」とともに、地域の方々の孤立防止の為の新たな交流の場として「サロン de ミュージック」を開催しました。
又、参加者の活躍の場として12月16日に開催の「音の駅」にて発表会を実施しました。
2. 子育て支援事業として、未就園児を対象とした「親と子のフリー広場」を毎月2回実施しました。30年度の新たな試みとして近隣の公園でも開催し、好評を得ることができました。又、小中学生の宿題対策と居場所づくりとして、8月7日に「夏休み企画/ecoクラフトバンド講座」、1月5日に「冬休み企画/書初め教室」を開催しました。
3. 横浜ひなたやま支援学校の就労支援として、10月4日・10月25日・11月15日の3回にわたり、フードユニットによるパンの販売を行い、地域の方々に喜ばれました。
4. 障がい児・者と地域との交流を深める為に、8月20日に自立支援協議会・南瀬谷地区社協との共催で「まんまるクラフト」を開催しました。今回は、障がい当事者と地域の子ども達との交流を目的として、南瀬谷小学校から16名、南瀬谷中学校から1名、障がい当事者6名が参加され、和やかな雰囲気の中、行われました。
5. 「秋のケアプラザ祭り」を開催する予定でしたが、台風の影響により中止となりました。
但し、準備段階では、ケアプラザの登録団体に依頼し、当日の配布資料のセット組みや館内の飾り付け、調理の準備等、多大なるご協力を頂きました。
また、区内の作業所など障がい者支援団体に来店依頼を行いました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 「こども食堂」を中心に、食事だけではなく学習支援や居場所づくりの一環として地域ケアルームを開放し、ボランティアによる学習支援を行いました。
2. キッズ空手の団体に働きかけ、夜間の利用促進をはかりました。
3. 貸館利用に関して、自由予約の周知をはかり、予約枠の上限に関わらず、積極的な利用の促進に努めました。
4. 福祉保健活動団体や地域で活動されている団体に、デイサービスやケアプラザ祭り等への参加協力を依頼し、活躍の場を提供しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

1. 5月29日と6月12日の2回講座で「よこはまシニアボランティアポイント」の登録研修会を開催し、新たに26名の方が登録されました。又、当日来られなかった方からの要望を受け、追加で講習会を実施し、更に5名の方が登録されました。その中から数名の方が実際のボランティア活動につながりました。
2. 各事業終了後の反省会等において、ボランティアとの意見・情報交換を行い、今後の事業運営に役立てるよう努めました。
又、2～3月にかけて自主事業のボランティアに感謝の意を表す場を設けました。
3. ボランティア活動を希望する方々に対しては、館内の掲示板やちらし・広報紙を通して、活動先や内容の情報提供を行い、受け入れ先とのコーディネートをはかりました。
4. 若い世代のボランティア育成を目指し、福祉教育や職業体験等、近隣の学校との連携をはかりました。
30年度の新しい試みとして、職業体験の場で個別支援級中学生の受け入れを行いました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 地区社協・連合町内会・民児協・地域サロン等の会合や活動に積極的に参加し、情報の収集と課題把握に努めるとともに、福祉保健活動に関する情報提供を行いました。また、地域で得た情報や課題を他の機関・団体に伝え、地域全体で情報共有できるように努めました。
2. 地域及び区役所等、関係機関から得た情報を職員会議や朝礼の場で情報共有しました。
3. 貸館団体や来館者に対して、各種チラシやパネル等を通して、福祉保健活動に資する情報提供を行いました。
4. 四半期に一度の広報紙「下瀬谷ケアプラザだより」の中で、地域で行われている活動やイベントを紹介するとともに、地域の方々の活躍の様子を掲載しました。又、ホームページに広報紙のバックナンバーを掲載するとともに自主事業やイベント情報の提供を行いました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

1. 29年度に引き続き、コミュニティカフェ「カフェ・アロハ」を偶数月の第1金曜日に包括と地域交流との共催事業として開催しました。こどもから高齢者まで、幅広い地域住民の集いの場となるよう工夫し、英語絵本の読み聞かせや工作コーナーを設け、親子連れの参加者も増えました。また、包括や地域交流とも連携して取り組みました。
2. 地域のサロンやミニデイサロン等を訪問した際や、生活支援コーディネーターだよりの中で、生活支援体制整備事業や地域包括ケアシステム等について、分かりやすい言葉で説明し、地域の方々への周知活動に取り組みました。
3. 生活支援コーディネーターだよりとして、「地域支え愛通信」を発行しました。その中で、生活支援コーディネーターとしての取組や、地域の活動等を発信しました。
4. 瀬谷の歴史や地理を探り、理解を深めることを目的に活動している地域団体の活動に参加し、地域特性の把握に努めました。
5. 新たな担い手確保のため、趣味を切り口としたジャズ喫茶や弾き語りライブ、男性を対象とした趣味の集い等の様々な事業を実施しました。また、「せやまるタウンカレッジ」に参加し、これまで地域活動とは無縁だった方たちと出会い、居場所づくりをしたい方への立ち上げ支援や、仕事のスキルや趣味を活かした地域活動へつなぎました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

1. 地域のサロンや会議、行事等には積極的に参加し、地域のニーズや課題の把握に努めました。そして、地域活動人材の高齢化や固定化といった課題解決に向けて、新たな担い手確保を目指した事業を実施しました。
2. 29年度に実施した、地域包括ケアシステムに関するアンケート結果を分析し、地域の高齢者は配達サービスと移送サービスを利用している人の割合が高いことが分かりました。このことから、買物や通院時等の移動手段に不便を感じている人が多いことを把握しました。
3. 地域活動やインフォオーマルサービス等の地域情報を整理し、アセスメントシートや地域活動・サービスデータベースシステムにまとめました。

(3) 連携・協議の場

1. 地域の会議等へ積極的に参加し、地域との関係づくりに努めました。また、地域のボランティアグループと連携し、住民懇談会を開催するなどして、目指す地域像を地域の方々で共有しました。
2. 横浜市の介護予防・生活支援サービス補助事業により活動している団体への継続・発展等に向けた様々な働きかけや、市や民間の助成金申請にかかる支援を行いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

1. 毎月1回開催される生活支援コーディネーター連絡会等で、区役所・区社協・他のケアプラザの2層コーディネーターと情報を共有し、広域の地域課題として、男性の地域活動やサロン等への参加が少ないことを把握しました。
2. 広域の地域課題の解決に向けて、他のケアプラザの2層コーディネーターと共に、男性を対象とした事業を開催し、男性の地域活動人材の創出に向けて取り組みました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

1. 毎月1回ケア会議で、地域交流・区役所の地区担当保健師・ケースワーカー、区社協と地域の課題について話し合い、連携しました。
2. 担当地域の各地区で毎月開催されている民児協の定例会に参加し、地域の高齢者の支援が円滑に行われるために必要な情報交換、サービスの検討をしました。
3. 地域の関連団体や関係機関とのネットワーク構築のため、地区支援チーム会議等に出席している職員とも連携を図り、職場内において情報共有のうえ、必要に応じて地域の会議等にも参加しました。

②実態把握

1. ポータルサイトや地区診断の結果等から担当エリアの人口・世帯、年齢構成・家族構成、特徴について確認しました。また、高齢者が集まれる機会が少なそうなエリアで開催されているサロンには積極的に出向き、支援等も行いました。
2. 29年度行った「見守りアンケート」を活かすところまではできませんでしたが、区役所で行われた見守りキーホルダーの話し合い等に参加しました。
3. 地域サロン等へ出向き高齢者が抱える悩み等の把握に努め、時にはその場で介護保険等の申請や相談を承ったりしました。

③総合相談支援

1. 高齢者に関する様々な相談を受け止め、相談票を担当者ごとに整理しました。
2. 相談内容に応じて区役所や区社協、医療機関等と連携を図り、協力して必要な情報提供やサービスの導入等の支援をしました。
3. ケアマネジャー等に繋がらないケースの場合、必要に応じて民生委員等と協力し、定期訪問等継続的にフォローしました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

1. 権利擁護事業として、8月に「あんしんセンターって何するところ?」、「エンディングノート書き方講座」を開催し、2月に子育て中の親御さんを対象とした「親としてこどものSOSを見逃さない」を開催しました。
2. 相続を含む後見の相談があったケースでは、後見制度の概要を説明したり、一緒に区役所で開催されている法律相談に同行し支援を行いました。また、地域サロンからも悪質商法の話をして欲しいという要望があり、出前講座も開催しました。

②高齢者虐待への対応

1. 「介護者のつどい」オープン講座として、7月に「生活習慣病について」、9月に「不眠について」、11月に「認知症について」の合計3回実施しました。
2. 虐待ケースの対応に関しては区役所と情報共有をしたり、同行訪問といった対応を図りました。

③認知症

1. エリア内の認知症キャラバンメイトと定例会と認知症サポーター養成講座を実施し、小学生を中心に認知症についての理解啓発をしました。
2. 認知症に関する相談があった際、医療機関の案内や対応の仕方など、適切な支援を行いました。
3. 認知症の方を見守っている各連合向けに「みんなで学ぶ認知症」を開催し、認知症の理解と見守り強化の機会としました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

1. 地域のサロンやシニアクラブ等の要望に応じて「介護保険」「介護予防」「権利擁護」等に関する出前講座を行いました。すぐに施設入所しなくても在宅介護サービスを活用して在宅生活が継続できるように、介護予防の意識を高めて生活をする習慣をつけられるように啓発しました。
2. 民児協の定例会に出席し、地域住民に有益な情報を提供しました。地域課題を共有して情報や意見交換をして、より連携の取りやすい関係づくりを図りました。
3. 民生委員とケアマネジャー及び関係機関がお互いの顔が見える関係づくりや連携を深める機会として、エリアごとに「民生委員とケアマネジャーの交流会」を実施しました。
4. 2月にケアマネジャーに対して配食サービス（ひまわり会）の活動中の見学や意見交換会を実施し、事業の目的やサービス内容を知って頂く機会としました。

②医療・介護の連携推進支援

1. 毎月「施設協力医とケアマネジャーの勉強会」をテーマに沿って開催し医療と介護の情報や意見交換を通して理解を深め、より円滑な連携やスキルアップがはかれるようにしました。
2. 新任ケアマネジャーを対象に6月に「介護保険制度・行政制度・区社協事業」「利用者の主治医への連絡票」「瀬谷区医療情報」（医師との連絡方法のタイミング等記載）2月に「ケアマネジャー業務での困りごと」についての研修を開催し業務での困りごとや解決方法を検討し情報として共有致しました。
3. 瀬谷区認知症医療連携検討会に参加し認知症の高齢者が速やかに適切な治療やサービス利用ができるように検討を重ねました。また、2月16日には各機関と協力し認知症講演会の開催に至りました。
4. 在宅サポートネットワークに参加し「地域で孤独化している方々へのアプローチの仕方について」近隣の医療機関や医師会、その他介護従事者間で情報共有や意見交換を通じて円滑な地域の包括ケアを図りました。
5. 2月に在宅医療連携相談室・瀬谷区ケアネットと共催で医師会・歯科医師会・薬剤師会と介護従事者との意見交換のできる交流会を開催しました。
6. 地域内にある「かわたき歯科」、「にしざわ整形外科」、「コンパス薬局」にヒアリングに伺い、困りごとや今後の連携の在り方等に関して情報交換を行いました。

③ケアマネジャー支援

1. 毎月「施設協力医とケアマネジャーの勉強会」をテーマに沿って開催し事例検討や医師からの医療知識のレクチャー等を通してケアマネジャーのスキルアップをはかりました。
2. 阿久和地域ケアプラザ地域包括支援センターと共催で「看護小規模多機能事業所の見学会を」開催いたしました。また、ケアマネットと協力し「病院相談員とケアマネジャーの交流会」「三師会とケアマネジャーの交流会」を企画・開催しました。
3. 毎月区内の包括主任ケアマネジャーが協力し、ケアマネジャーにとって有益な研修や区役所・包括で開催する企画を「ケアマネカレンダー」にして配布。また昨年度発足した通所介護連絡会を対象に「通所介護事業所とケアマネジャーの交流会」を企画・開催致しました。
4. 区内包括職員と協力し、介護予防サービスや介護予防ケアマネジメントがより適切に行われるように介護予防従事者研修を開催しました。
5. 地域で活動する居宅介護支援事業所が開催する事例検討会に協力し、地域内の居宅介護支援事業所同士が連携し資質向上をはかれるように支援しました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

1. エリア内の地域密着型サービスの運営推進会議等に参加し地域住民も交えて地域におけるサービスの妥当性や資質向上を図れるように、現状の把握や検討を行いました。
2. 地域ケア会議を開催し、個別課題から見えてくる地域課題を抽出し、多職種からの意見を取り入れ地域住民と共にどのような協力体制が必要か、話し合いを重ねていきました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

1. 要支援者に介護予防の必要性を理解してもらい、介護予防の継続的な取組をしてもらえるよう意欲の維持・向上に努めました。
2. 委託先のケアマネジャーに介護予防給付だけでなく、地域資源（介護予防教室・インフォーマルサービス等）を情報提供することで、ケアマネジメントの充実を図るための連携・支援をしました。
3. 支援が難しいケースに関しては、包括・エリア担当の保健師・ケースワーカー・区社協等と情報交換しながら支援強化に努めました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

1. 各教室を連続講座として実施し、継続的なフォロー・見守り・評価を行い、内容の充実をはかりました。
また、ここ数年各教室が地域に根付いてきたことから、地域の担い手主導で運営出来る地域サロンに変え、引き続き介護予防要素を取り入れた内容で継続活動出来るよう支援しました。
2. 既存の元気づくりステーションが、継続的に自主活動（運営・企画）が行えるよ

う支援しました。また6年目の活動となるグループに対しては、「地域の介護予防を推進するグループになるための研修」でレベルアップを図りました。

地域の介護予防拠点として30年度新たな元気づくりステーションが立ち上がりました。活動が継続できるよう支援を行いました。

3. 地域サロン・老人会に対して、活動内容が介護予防的要素（体操・脳トレ等）を取り入れられるよう出前講座を行うなど定期的に支援しました。
4. 昨年度開催した健康習慣講座の参加者が自主的に介護予防の活動を普及・人材育成できるように支援しました。
5. 介護予防普及活動がより効果的になるようにアンケートを実施していくためアドバイザー講師より指導を受けながら作成中です。
6. 既存の地域サロンやシニアクラブの交流会を開催し、各会のアピールをしてもらうことで情報交換・共有を作るとともに各会の課題を整理し、今後の方向性が見いだせるように支援しました。
7. 集合住宅が密集するエリアにおいて運動講座を4回開催しました。継続意向のニーズがあったため新規自主化グループを立ち上げ活動継続支援を行いました。

5 その他

1. 「秋のケアプラザ祭り」を開催する予定でしたが、台風の影響により中止となりました。
2. 地域で立ち上がった住民主体の介護予防・生活支援サービスに対して安定した活動が行えるよう継続的に支援しました。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

施設を利用するすべての方が安全・快適に利用できるように、指定管理施設であることを自覚し、「地域ケアプラザの管理運営に関する基本協定書」に定める基準に基づき、保守管理や環境維持業務を定期的に行い、施設及び設備の適正な維持管理を行います。保守や維持管理については、専門業者による定期点検や職員による日常点検を行いました。

1. 委託業務による設備・建物当の定期点検・維持管理
 - (1) 定期清掃、定期設備点検（レジオネラ症防止対策・害虫駆除）
 - (2) 電気設備保守点検
 - (3) ガス設備定期点検
 - (4) 消防設備点検
 - (5) セキュリティ会社による夜間設備保守
2. 職員による日常点検
 - (1) 「閉館前点検チェック表」による防犯・防災の設備点検
 - (2) 修繕箇所などが発生した際は速やかに区役所と協議し、必要な対策を講じました。
 - (3) 館内清掃チェック表を用いて定期点検・清掃に取り組みました。

(2) 効率的な運営への取組について

1. ケアプラザは地域の福祉保健に関する拠点であり、効果的にその役割が果たせるように、5つの部署（地域交流、包括、生活支援体制整備事業、居宅介護支援事業所、通所介護事業所）が連携を密にして情報を共有して事業等を実施しました。また、毎月部署ごとでの会議を開催するとともに職員会議を開催し、ケアプラザ内全体での情報伝達の徹底や課題の共有と連携を図りました。
2. 自治会町内会、地域団体と連携して効果的な事業の展開を図り、ケアプラザ内の事業展開だけではなく、近隣の場所等をお借りしての事業開催を行いました。

(3) 苦情受付体制について

1. 当地域ケアプラザの運営法人である社会福祉法人同塵会が定める「苦情対応規程」に基づき、利用者の権利を擁護し、迅速に改善を図ることを念頭に取り組みました。
2. 事業所の受付に「苦情相談窓口」案内を掲示して施設利用者に周知しました。
3. 苦情相談は受付者を各事業の職員から選出し、迅速な対応ができるようにしました。介護保険の契約時に提示する重要事項説明書、個人情報使用同意書の説明時に苦情相談の受付体制を説明し、施設利用者に対しては、利用者アンケートにご意見、苦情などが書き込める項目を設けて、利用者の声が捉えられるように引き続き務めました。
また、利用者・来館者に気軽に意見等を述べてもらえるよう、「ご意見箱」を継続して設置しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

1. 災害時や事故発生時に対応できるように「事故・防災対応マニュアル」を確認及び見直しを実施しました。
2. 防災訓練は瀬谷消防所の協力を得て、消防訓練を2回実施しました。また、職員を対象にAED訓練や区役所と協力し、「福祉避難場所設置訓練」を実施しました。
3. 防犯については、日常的に職員が「閉館時点検チェック表」に基づき見回り、パソコンや個人情報書類が入っている書庫への施錠を行い、職員退出後はセキュリティ会社による保守管理を行いました。また、非常口付近に人感センサーライトを設置しており、引き続き防犯強化に努めました。

(5) 事故防止への取組について

1. 事故を未然に防ぐために、必要に応じて「ヒヤリハット」の作成および回覧をし、結果を基にして職員会議等で話し合いを実施しました。その他、「安全管理マニュアル」を職員の目の届く場所に常備し、再確認しました。
2. 感染症対策については、職員会議等の際に研修（インフルエンザ・ノロウイルス対策）を企画し実施しました。
3. 個人情報の事故防止については、日常的な点検やダブルチェックの徹底に努め、瀬谷区福祉保健課による研修を実施。また、全職員に対してチェックリストを実施しました。
4. 職員会議等で安全運転に関する講座を実施し、意識の向上に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

1. 指定管理施設として「横浜市個人情報保護に関する条例」及び下瀬谷地域ケアプラザの「個人情報保護マニュアル」に基づき、プライバシーの尊重を遵守した個人情報の保護に努めました。また、職員対象の個人情報保護についての研修を実施しました。
2. 施設入口には施設利用者向けに「個人情報に関する基本方針（プライバシーポリシー）」を掲示し、職員については「個人情報の保護に関する誓約書」の提出を行いました。
3. 郵便物、FAX など外部との通信にはダブルチェックをし、適切な情報の取り扱いに継続して努めました。

(7) 情報公開への取組について

1. 広報誌「下瀬谷ケアプラザだより」を四半期ごとに発行し、自治会町内会の回覧版・掲示板を依頼して事業活動の周知を図りました。また、広報誌による情報の発信が効果的にできるよう、紙面の工夫をしました。
2. ケアプラザだよりをホームページからも閲覧できるようにし、効果的な情報発信に努めました。
3. 介護情報の情報公表は適時行い、第三者評価、ケアプラザ事業報告及び計画などを窓口に備え、引き続きいつでも閲覧できるようにしました。
4. 利用者にわかりやすい説明を心がけて、活動紹介パネルなども活用しました。
5. 個人情報の開示請求に関しては、「指定管理者の情報の公開に関する標準規定」及び「横浜市下瀬谷地域ケアプラザ保有個人データの開示等の請求に関する規定」に準じて適切に対応しました。

(8) 人権啓発への取組について

1. 「こども、障がい児・者、高齢者」の人権擁護や性差別に関する研修（内外部）に参加し、人権侵害等を未然に防げるよう啓発に努めました。
2. 人権擁護に関するパンフレット・リーフレット等の館内の配架やポスターの掲示をし、地域に対しても啓発活動に取り組みました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

1. 横浜市が提唱する「3R 夢プラン」に準じて、ゴミの減量・発生抑制、再使用・再利用に継続して取り組みました。また、災害時用に雨水タンクの活用や夏季にはゴーヤカーテンも実施しました。
2. 引き続き、不要不急の電力消費を見直し、節電に努めました。冷暖房の適正温度実行の励行に努め、裏紙の活用等も積極的に行いました。
3. 月に1回施設周辺の美化清掃を実施し、地域の環境整備に取り組みました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

保健師（看護師） 1名
社会福祉士 2名
主任ケアマネジャー 1名

《目標に対する成果等》

包括3職種と介護予防支援事業のプランナーが協力して、エリア内の要支援認定者の介護予防ケアマネジメントを実施しました。

1. 要支援者に介護予防の必要性を理解してもらい、介護予防の継続的な取組をしてもらえるよう意欲の維持・向上に努めました。
2. 委託先のケアマネジャーに介護予防給付だけでなく、地域資源（介護予防教室・インフォーマルサービス等）を情報提供することで、ケアマネジメントの充実を図るための連携・支援をしました。
3. 支援が難しいケースに関しては、包括・エリア担当の保健師・ケースワーカー・区社協等と情報交換しながら支援強化に努めました。

《実費負担》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

要支援認定者及び事業対象者からのご相談があった際には状況把握に努め、事業所内で情報を共有し、担当者を決めて責任を持って対応しました。また、担当者不在時にも必要なサービス調整などがあれば早急に対応しました。

介護保険サービスの利用を目標とするのではなく、要支援者の自立支援を目指した視点でケアマネジメントを行い、アセスメント・ケアプラン作成をしました。

また、関係機関との連携及び適正なサービスが利用できるよう情報収集に努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
300	306	299	301	293	304
10月	11月	12月	1月	2月	3月
299	298	299	294	294	305

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

介護支援専門員

常勤兼務	2名（所長・管理者）
常勤	3名
非常勤	1名
合計	6名

《目標に対する成果等》

- ・ご利用者の医師を尊重し、住み慣れた地域で安心して自立した日常生活が過ごせるように支援が出来ました。
- ・介護保険サービスに偏ることなく、地域のインフォーマルサービスも取り入れてケアプラン作成が行えました。
- ・毎週会議でご利用者の情報を共有し、担当者が不在でも対応することが出来ました。

《実費負担》

なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ケアプラザ内に設置されている地域包括支援センターと密に連携出来る体制を確保し、支援困難ケースに対応することが出来ました。
- ・主任介護支援専門員の配置や24時間の連絡体制が確保できています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
169	170	166	168	162	163
10月	11月	12月	1月	2月	3月
167	162	161	160	160	160

● 通所介護

《提供するサービス内容》

サービス計画の作成、相談・援助等、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認、送迎、食事、入浴

《実費負担》

通所介護

● 1割負担分

（要介護1）	599円	
（要介護2）	708円	
（要介護3）	816円	
（要介護4）	926円	
（要介護5）	1034円	
入浴	54円	
中重度者ケア体制加算	49円	
サービス提供体制強化加算Ⅰ（イ）	20円	

● 2割負担分

（要介護1）	1197円	
（要介護2）	1415円	
（要介護3）	1632円	
（要介護4）	1851円	
（要介護5）	2067円	
入浴	108円	
中重度者ケア体制加算	97円	
サービス提供体制強化加算Ⅰ（イ）	39円	

● 3割負担分

（要介護1）	1795円	
（要介護2）	2123円	
（要介護3）	2448円	
（要介護4）	2776円	
（要介護5）	3101円	
入浴	161円	
中重度者ケア体制加算	145円	
サービス提供体制強化加算Ⅰ（イ）	59円	

● 食費負担 680円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ
（介護報酬総単位数×5.9%）×10.72（円）

● 利用料金口座振替手数料 108円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10：00～15：30

《職員体制》

・管理者 1 名・生活相談員 5 名・介護員 22 名・看護師 7 名・機能訓練指導員 7 名
・送迎ドライバー 4 名 ・調理員 7 名・清掃員 1 名

《目標に対する成果等》

ご利用様が、居宅において自立した日常生活が営むことができるようにきめ細やかに支援しました。日々のケースカンファレンスにおいて利用者の個別対応や介護計画の見直しを随時行いました。

ご家族の精神的・身体的負担が軽減できるように支援しました。
日常生活における孤立感の解消ができるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

運動・音楽・作業レクリエーションを取り入れ、ご利用様に合わせた機能訓練や季節感を感じていただけるプログラムを提供しました。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
980	1039	997	1016	1008	1010
10月	11月	12月	1月	2月	3月
1029	1019	953	934	909	1043

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

サービス計画の作成、相談・援助等、機能訓練（日常動作訓練）、介護サービス（移動や排泄の介助、見守り等）、健康状態の確認、送迎、食事、入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（通所型独自サービスⅠ） 1,766円
（サービス提供体制強化加算Ⅰイ） 78円

（通所型独自サービス／22） 1,766円
（サービス提供体制強化加算Ⅰイ） 78円

（通所型独自サービス2） 3,621円
（サービス提供体制強化加算Ⅰイ） 155円

● 2割負担分

（通所型独自サービスⅠ） 3,532円
（サービス提供体制強化加算Ⅰイ） 155円

（通所型独自サービス／22） 3,532円
（サービス提供体制強化加算Ⅰイ） 155円

（通所型独自サービス2） 7,241円
（サービス提供体制強化加算Ⅰイ） 309円

● 3割負担分

（通所型独自サービスⅠ） 5,297円
（サービス提供体制強化加算Ⅰイ） 232円

（通所型独自サービス／22） 5,297円
（サービス提供体制強化加算Ⅰイ） 232円

（通所型独自サービス2） 10,861円
（サービス提供体制強化加算Ⅰイ） 464円

● 食費負担 680円

● 介護職員処遇改善加算Ⅰ
（介護報酬総単位数×5.9%）×10.72 （円）

● 利用料金口座振替手数料 108円

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 10：00～15：30

《職員体制》

・管理者 1名・生活相談員 5名・介護員 22名・看護師 7名・機能訓練指導員 7名
・送迎ドライバー4名 ・調理員 7名・清掃員 1名

《目標に対する成果等》

ご利用者様が、居宅において自立した日常生活が営むことができるようにきめ細やかに支援しました。日々のケースカンファレンスにおいて利用者の個別対応や介護計画の見直しを随時行いました。

ご家族の精神的・身体的負担が軽減できるように支援しました。
日常生活における孤立感の解消ができるよう支援しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

運動・音楽・作業レクリエーションを取り入れ、ご利用者様に合わせた機能訓練や季節感を感じていただけるプログラムを提供しました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
26	27	26	25	30	31
10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	23	24	25	24	24

平成30年度「下瀬谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,332,000	363,505	15,695,505	15,695,505	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当 事業			0	186,169	186,169	
自主事業収入			0		0	
雑入	0		0	33,733	33,733	
印刷代			0	21,580	21,580	
自動販売機手数料			0	12,153	12,153	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当分)			0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0		0	
収入合計	19,322,000	363,505	19,685,505	19,905,407	219,902	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,760,000		10,760,000	10,495,271	264,729	
本俸	7,634,000		7,634,000	7,107,493	526,507	
社会保険料	688,000		688,000	881,351	193,351	
手当計	2,178,000		2,178,000	2,301,895	123,895	
健康診断費	70,000		70,000	52,711	17,289	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	190,000		190,000	86,258	103,742	
その他	0		0	65,563	65,563	
事務費	1,385,200		1,385,200	1,717,891	332,691	
旅費	25,000		25,000	11,319	13,681	
消耗品費	350,000		350,000	332,428	17,572	
会議随行費	0		0	0	0	
印刷製本費	40,000		40,000	27,827	12,173	
通信費	388,200		388,200	477,044	88,844	
使用料及び賃借料	0		0	10,464	10,464	
横浜市への支払分			0	10,464	10,464	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	580,692	580,692	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	15,000		15,000	41,208	26,208	
職員等研修費	0		0	250	250	
搬入手数料	2,000		2,000	271	1,729	
リース料	427,000		427,000	97,284	329,716	
手数料	25,000		25,000	19,940	5,060	
地域協力費	30,000		30,000	75,100	45,100	
その他	83,000		83,000	44,064	38,936	
事業費	392,000		392,000	325,521	37,445	
運営協議会経費	42,000		42,000	12,966	29,034	予算-指定額
指定管理料充当 事業	350,000		350,000	312,555	37,445	
管理費	5,924,000		2,884,505	6,954,146	5,114	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	3,403,000		0	4,556,521	0	
電気料金				0	0	
ガス料金				0	0	この別は入力しない
水道料金				0	0	
清掃費	227,000		227,000	227,908	908	
修繕費	474,000	363,505	837,505	837,505	0	予算-指定額
機械整備費	266,000		266,000	266,205	205	
設備保全費	1,203,000		1,203,000	1,172,199	30,801	
空調衛生設備保守	579,000		579,000	579,133	133	
消防設備保守	39,000		39,000	44,006	5,006	
電気設備保守	26,000		26,000	26,831	831	
害虫駆除清掃保守	86,000		86,000	86,003	3	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	473,000		473,000	436,226	36,774	
共益費	0		0	0	0	
その他	351,000		351,000	375,574	24,574	
公租公課	860,800	0	860,800	839,621	21,179	
事業所税			0		0	
消費税	860,800		860,800	839,621	21,179	
印紙税					0	
その他()					0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分					0	
当該施設分					0	
二一対対応費					0	
支出合計	19,322,000	0	16,282,505	20,332,450	4,224	
差引	0	363,505	3,403,000	427,043	215,678	

自主事業費収入	350,000		350,000	186,169	163,831	
自主事業費支出	350,000		350,000	312,555	37,445	
自主事業収支	0	0	0	126,386	126,386	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	12,153	12,153	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	10,464	10,464	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	1,689	1,689	

平成30年度「下瀬谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,056,000		29,056,000	29,056,000	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	16,368	16,368	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	17,000	17,000	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0	0	0	41,750	41,750	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	12,150	12,150	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当)			0	29,600	29,600	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	34,996,000	0	34,996,000	35,071,118	75,118	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,470,000	0	30,470,000	26,526,677	3,943,323	
本俸	18,564,000		18,564,000	14,934,159	3,629,841	
社会保険料	3,420,000		3,420,000	3,315,229	104,771	
手当計	7,771,000		7,771,000	7,547,025	223,975	
健康診断費	70,000		70,000	49,045	20,955	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	645,000		645,000	440,032	204,968	
その他	0		0	241,187	241,187	
事務費	1,410,000	0	1,410,000	1,487,334	77,334	
旅費	30,000		30,000	44,578	14,578	
消耗品費	250,000		250,000	241,825	8,175	
会議贈い費	0		0	0	0	
印刷製本費	60,000		60,000	41,923	18,077	
通信費	550,000		550,000	498,827	51,173	
使用料及び賃借料	0	0	0	10,464	10,464	
横浜市への支払分	0		0	10,464	10,464	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	499,210	499,210	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	75,000		75,000	40,183	34,817	
職員等研修費	30,000		30,000	250	29,750	
振込手数料	10,000		10,000	8,043	1,957	
リース料	324,000		324,000	0	324,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	20,000		20,000	26,000	6,000	
その他	61,000		61,000	76,031	15,031	
事業費	1,240,000	0	1,240,000	4,825,881	3,585,881	
協力医	630,000		630,000	399,000	231,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	150,000		150,000	34,672	115,328	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	33,385	275,615	予算:指定額
管理費	1,876,000	0	1,876,000	1,848,553	27,447	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	1,210,000	0	1,210,000	1,211,226	1,226	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	60,000		60,000	60,582	582	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	70,000		70,000	70,763	763	
設備保全費	317,000	0	317,000	0	317,000	
空調衛生設備保守	153,000		153,000	153,946	946	
消防設備保守	10,000		10,000	11,697	1,697	
電気設備保守	7,000		7,000	7,132	132	
害虫駆除清掃保守	22,000		22,000	22,861	861	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	125,000		125,000	115,957	9,043	
共益費	0		0	0	0	
その他	93,000		93,000	99,834	6,834	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	34,996,000	0	34,996,000	34,688,445	307,555	
差引	0	0	0	382,673	382,673	

自主事業費収入	610,000		610,000	33,368		
自主事業費支出	610,000		610,000	219,057		
自主事業収支	0		0	185,689		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				12,150		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				10,464		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				1,686		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:下瀬谷地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	7268	8144	-876	32822	33861	-1039			0			0	
	その他	8879	9388	-509	11472	1794	9852	0	0	0	0	0	0	
	介護予防ケアマネジメント費	8879	9388	-509			0			0			0	
	要介護認定調査委託料収入			0	500	549	-49			0			0	
	委託事業				1063	1237								
	その他の事業													
	雑収入													
	経常経費寄付金収入			0			0			0			0	
	受取利息配当金収入			0			0			0			0	
	サービス区分間繰入金収入			0	9906		9906			0			0	
	その他			0	3	8	-5			0			0	
	収入合計(A)		16147	17532	-1385	44294	35655	8639	0	0	0	0	0	0
	支出	人件費			0	33610	31573	2037			0			0
事務費				0	1021	985	36			0			0	
事業費				0	20	6	14			0			0	
管理費				0	45	27	18			0			0	
その他		16147	17532	-1385	4949	849	100	0	0	0	0	0	0	
利用者負担軽減額				0			0			0			0	
消費税				0			0			0			0	
介護予防プラン委託料		7182	8076	-894			0			0			0	
固定資産取得支出				0	100		100			0			0	
ファイナンス・リース債務の返済支出				0	849	849	0			0			0	
拠点区分間繰入金支出					4000									
サービス区分間繰入金支出	8965	9456	-491			0			0			0		
その他			0			0			0			0		
支出合計(B)		16147	17532	-1385	39645	33440	2205	0	0	0	0	0	0	
収支 (A)-(B)		0	0	0	4649	2215	6434	0	0	0	0	0	0	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市下瀬谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
うたごえ広場	高齢者	121,243	地活	10,043	111,200		103,567	17,676	
	60		包括						
	200		介護						
			生活						
親と子のフリー広場	未就園児&親	20,007	地活	20,007			11,137	8,870	
	60		包括						
	-		介護						
			生活						
男の料理教室	高齢者	16,077	地活	2,077	14,000			16,077	
	10		包括						
	700		介護						
			生活						
子ども向け夏休み企画	小学生	17,352	地活	2,852	14,500		6,682	10,670	
	20		包括						
	500		介護						
			生活						
音の駅	地域の方々	5,568	地活	5,568			5,568		
	-		包括						
	-		介護						
			生活						
秋のケアプラザ祭り	地域の方々	30,244	地活	23,893				23,893	
	-		包括	6,351					
	-		介護						
			生活						
ケアプラで書初め	小中学生	540	地活	540				540	
	20		包括						
	-		介護						
			生活						
ボランティア感謝のつどい	ボランティア	8,769	地活	8,769				8,769	
	-		包括						
	-		介護						
			生活						
連合まつりブース出店	地域の方々	12,454	地活	-1,842				6,227	
	-		包括	-1,841					
	-		介護						
			生活						
四ツ木会	脳血管疾患後遺症を抱えている方	27,493	地活	5,444	8,300			13,744	
	-		包括	5,449					
	-		介護						
			生活						
コミュニティカフェ カフェ・アロハ	地域の方々	31,984	地活	8,341				8,341	
	-		包括	8,345					
	100		介護						
			生活	-1,702					
まんまるクラフト	障がい者	414	地活	414				414	
	30		包括						
	200		介護						
			生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

よこはまシニアボランティア ポイント登録研修会	高齢者		地活	3,564				3,564	
	-		包括						
	-		介護						
		6,905	生活	3,341				3,341	
サロンdeミュージック	高齢者		地活	36,716	30,100		66,816		
	40		包括						
	100		介護						
		66,816	生活						
趣味からはじめる圏域デビュー	地域の方々(主に男性)		地活						
	20		包括						
	400		介護						
		5,540	生活	5,540				5,540	
ジャズ喫茶	地域の方々		地活						
	20		包括						
	200~500		介護						
		590	生活	590				590	
いざ、地域へ出よう！！	地域の方々		地活						
	20		包括						
	300~480		介護						
		1,180	生活	1,180				1,180	
下瀬谷ライブカフェ	地域の方々		地活						
	20		包括						
	200~500		介護						
		2,180	生活	2,180				2,180	
地域活動団体チラシ	地域活動団体		地活						
	-		包括						
	-		介護						
		1,180	生活	1,180				1,180	
地域支え愛通信	地域の方々		地活						
	-		包括						
	-		介護						
		3,806	生活	3,806				3,806	
地域共生型買物支援	高齢者		地活						
	-		包括						
	-		介護						
		270	生活	270				270	

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市下瀬谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
うたごえ広場	高齢者の閉じこもり予防、地域住民の交流の場などを通じて、介護予防を目的とする。アコーディオン奏者、指揮者を講師に迎え抒情歌や唱歌を歌い、休憩時間にボランティアによる喫茶を提供します。	毎月第4火曜日 13:30～15:30 H30.4～H31.3 計12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン de ミュージック	うたごえサロン第2弾！ 高齢者の閉じこもり予防、地域住民の交流の場などを通じて、介護予防を目的とする。 ピアノの演奏に合わせ叙情化や唱歌をはじめ、幅広いジャンルの歌にチャレンジする。	毎月第2木曜日 13:30～14:30 H30.4～H31.3 計12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男の料理教室	介護予防を含めた生きがい作りと団塊の世代の男性の地域デビュー、仲間作りの場の提供を目的とする。 買い物の仕方から始まり、食材の切り方など料理の基本を学び、簡単な家庭料理を自分で作れるようになることを目的とする。	H30.10.11.12月 全4回 9:30～13:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひなたやま ベーカリー	横浜ひなたやま支援学校の生徒さんの学習支援として、ケアプラザ内でパン販売等の後方支援を行う。	年3回 10/4・25・11/15

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親と子のフリー 広場	親と子・同世代の子を持った親同士・子ども同士が気軽に交流できる場として開催する。 育児の悩みや情報交換が出来る場としての役割や、地域でお母さんが孤立しないような役割など、場の提供だけにとどまらず、広く子育て支援を行う。	毎月第2・4金曜日 10:00～12:00 H30.4～H31.3 計23回 12月第4金曜は休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちびっこ集まれ プラレール	多目的ホールを子育て中の親子の交流の場として開放する。子ども達が大好きなプラレールの自由遊びとし、普段参加できないパパの参加を促す。	毎月第2日曜日 全12回 9:30～12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子でぎゅーっ と！スキンシップ	地域の子育て支援事業として、瀬谷区内の保育園と合同で開催。	H30年1月15日 10:30～11:30

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏休み企画 (ecoクラフトバンド教室)	子ども達の夏休みの居場所づくりと宿題や課題への取り組みのお手伝いを行う。 親子の思い出作りの手助けとして開催。	H30年8月7日 09:30～12:00
冬休み企画 (ケアプラで書き初め)	小学生・中学生を対象に、冬休みの宿題の書初めを書く部屋を開放。貸館団体の書道グループ等協力頂き書き方のアドバイスも行う。また宿題以外に下瀬谷ギャラリーに展示していただく字も書いて頂く。	H31年1月5日 09:00～12:00
まんまるクラフト	自立支援協議会・中屋敷地域ケアプラザとの共催事業 障害を持った方と地域の方々が協力して作業を行いながら交流をはかることを目的とする。	H30年8月20日 10:00～12:00
音の駅	瀬谷スポーツセンターとの共催事業 地域の誰もが身近な場所で良質な音楽を楽しんで頂くことを目的とする。1部:ロビーコンサート 2部:みんなで唄おう	H30年12月16日 13:30～15:00
権利擁護事業 「あんしんセンターって何するところ？」	金銭管理が不安な方に対して身近な相談窓口であるあんしんセンターを知っていただく機会として実施。	H30年8月20日 13:30～15:00
エンディングノート書き方講座	エンディングノートについて知って頂き、これまでの人生を振り返ると同時に今後をどのように生活していきたいかを考えて頂く機会とする。	H30年8月27日 13:30～15:00
親としてこどものSOSを見逃さない	学齢期における子供を取り巻く環境や現状を客観的に理解し、親として子どもとの接し方等に関して学ぶ機会とする。	H31年2月15日 10:00～12:00
介護のつどい オープン講座	現在介護をしている方、されていない方関わらず色々な視点からの情報を発信することで介護に役立ててもらおう機会とする。	H30年7月10日 H30年9月11日 H30年11月13日 合計3回 いずれも 13:30～15:00

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミュニティカフェ・アロハ	子どもから高齢者まで、認知症や障害の有無に関わらず、多様な地域住民の集いの場を提供することを目的とする。また、高齢者や子育て中の母親たちの身近な相談窓口として、気軽にケアプラザに立ち寄っていただく機会づくりを目指す。	H30年4月6日 H30年6月1日 H30年8月3日 H30年10月5日 H30年12月7日 H31年2月1日 合計6回 いずれも 14:00～16:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
趣味からはじめる地域デビュー	共通の趣味を持つ方の集いの場を提供することで、これまで地域に出てこなかった方々（主に男性）の地域活動を後押しし、新たな地域活動人材の創出を目的とする。	H30年7月21日 H30年9月29日 H30年11月10日 H31年1月19日 H31年3月9日 合計5回 いずれも 14:00～16:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いざ、地域へ出よう！！	地域活動に興味関心のない方にも気軽に参加していただけるよう、音楽ライブを提供し、新たな地域活動人材を見出すことを目的とする。	H30年10月27日 18:00～20:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジャズ喫茶	共通の趣味を持つ方の集いの場を提供することで、これまで地域に出てこなかった方々（主に男性）の地域活動を後押しし、新たな地域活動人材の創出を目的とする。	H31年1月12日 15:00～17:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
下瀬谷ライブカフェ	音楽好きな人たちが集まる場を通じて、気軽に地域に出ていただく機会の提供と新たな地域活動人材の発掘を目的とする。	H31年3月16日 17:30～20:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シネマミュージックCafé	ケアプラザまで来ることが容易ではない、南瀬谷地区の方たちが、身近な場所で趣味の音楽に触れる機会と、サロンとは違うタイプの集いの場を提供することで、新たな対象に働きかけることを目的とする。	H31年3月30日 10:00～12:00

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域共生型買物支援	「支え手」と「受け手」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合う「地域共生社会」の実現を目指し、障がいのある方が、高齢者の買い物をサポートする取り組み。	H30年11月9日 11:00～12:00 H31年1月18日 14:00～15:00